

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	664-1 地場産業振興事業	会計	01	一般会計
		款	07	商工費
		項	01	商工費
基本施策	43 伊賀ブランドの価値を高め、売り出す	目	03	観光費
		細目	336	観光振興経費
行革大綱の重点事項番号		6・7	細々目	51 地場産業振興事業
担当部課	コード	653500	担当者氏名	山出 憲清
	名称	阿山支所振興課		
		連絡先	43 - 1544 (内線)	140

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	観光客 伊賀焼の生産者	※対象件数
成果(どうする)	常設展示や体験により伊賀焼に対する理解を深めることができる。 販路拡大と全国への情報発信ができる。	
根拠法令・要綱等	管理に関する基本協定書、支所関係補助金交付要綱	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	第29回伊賀焼陶器まつりが7月24日から26日まで実行委員会により開催された。 入場者25,000人 伊賀焼伝統産業会館の管理運営を行う。 入場者 4,727人	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			伊賀焼陶器まつりの開催	回	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				陶器まつり来場者数	多くの方に見ていただくことにより、 販路拡大・PRにつながる。	人	目標 20000 実績 20000

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	3,504	3,504		46		46		
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0	0	0	0	0	
一般財源	3,504	3,504	46	46				
事業投入人件費 (B)	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440				
フルコスト(A)+(B)	4,944	4,944	1,486	1,486				

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を <input type="text" value="100%"/> 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 <input type="text" value="無"/>	
【予算の繰越がある場合、繰越の種別】 <input type="text"/>		
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	○

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	伊賀焼穴窯焼成体験事業の実施方法の再検討や学校教育との連携を強化し、入館者の増につなげる。
昨年度の取組状況	【状況】 <input type="text" value="計画のとおり進んでいる"/>
	【詳細】 ・伊賀焼の各種事業を通じて、遠方の方々の来場もあり、広く伊賀焼のPRができたと思われる。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	橋本 忠大
事業の方向性	【方向性】 <input type="text" value="現状維持"/>
	【理由】 ・陶器まつりの開催については実行委員会においてすべて運営されており、助成金については経費の一部として効率よく使用されている。
現時点における課題、その他	・伝統産業会館入館数と陶器まつり来場者数の目標値以上を維持する。
課題、その他に対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	・来場者確保のため引き続き陶器まつり開催についての情報提供・通知を23年度以降も行う。